



おひさまきらきら えがおいっぱい なんざんようちえん

3月号

港区立南山幼稚園

平成30年2月27日

NANZAN Kindergarten



〒106-0046  
港区元麻布 3-8-15  
(3408) 4785

### 育ちと学びをつなぐ

園長 こくぼ とくこ 小久保 篤子

【5歳児さくら組による「チャレンジオリンピック」】

自分で考えた技に挑戦！



【誕生会の司会の引き継ぎ】

ばら組の後ろでさくら組がサポートしています。



【一日入園体験で】

りんご組は、4月から入園する小さい子たちに、歌を披露したくさん拍手をいただきました。



3月弥生。修了式まで11日、進級に向け今年度も残り少ない日々となりました。

先日行われた南山幼稚園・南山小学校の公開保育・授業、合同の研究発表には、区内外から約240名の参会者が訪れました。保育・授業では、幼児・児童の交流活動の様子をご覧いただくとともに、研究発表では、3歳児から小学校6年生までの幼小が連携したカリキュラムの実践や工夫について研究報告をしました。

今、どの学年も子どもたちの成長の姿を実感しています。5歳児は、学級で計画した「チャレンジオリンピック」で、一人ひとりがこま回しや縄跳び、ボールなど繰り返し挑戦してきたことを披露しました。保護者の方の温かいまなざしに見守られ、できるようになったことを見てもらう姿はとても誇らしげで、子どもたちは自信に満ちていました。また、4・5歳児のお別れ遠足の前日のオリエンテーリングでは、5歳児が4歳児の手をひいて「みんないるかな。みんな、並んで」と仕切る姿は、まさに先生のように。人数を確認するという必要性を感じて、自分たちで考えてリードして行動している姿に頼もしさも感じました。「みんなでやっぺいこう」「みんなで楽しもう」という気持ちがあふれ、小学校の学習の基盤である「みんなで学習する」姿が育っているのだと思います。

幼稚園における学習は、まさに遊びや生活を通して様々なことを学ぶことであり、幼稚園での「育ちと学び」が土台なって小学校の学習へとつながっていきます。小学校は「ゼロからのスタートではない」ことを、今、目の前にいる子どもたちの姿が物語っていると実感できます。

園内では、5歳児から4歳児へと誕生会の司会の引き継ぎが行われ、4歳児は「今度は自分たちがさくら組」という自覚が芽生えています。3歳児は、自分でできるようになったことが増え、言葉によるやりとりも活発になってきました。「もっと〇〇したい」がいっぱいの毎日です。

保護者や地域の皆様、関係機関の皆様には、この1年間、本園への教育活動に温かいご支援とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。